

CDラジオ デジタルレコーダー

取扱説明書/保証書

CR-BUE30

7-CB1-901-01

aiwa

 **Bluetooth**

©2017 AIWA CO., LTD Printed in China

製品保証書	持込修理
品名	CDラジオデジタルレコーダー
型名	CR-BUE30
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から 1年
本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものではありません。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理費を申し付けさせていただきます。	
●本書は再発行しませんので大切に保管ください。	
お客様	様
ご住所	〒□□□-□□□□ 電話 □□□□□□□□
●ご販売店様へ お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、本書はお客様へお送りください。	
販売店	

商品、操作方法やトラブルに関するご相談、お問い合わせ
アイワお客様ご相談窓口：0570-000-271
修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ
アイワ修理ご相談窓口：0570-000-271
受付時間：平日9時～17時(土・日・祭日、長期連休を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話番号でご利用できない場合がございます。
ホームページ：http://www.aiwa.com/
アイワ株式会社 東京都品川区大田1-1-1 電話 141-0022
無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(持込修理/出張修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出を必ず行ってください。
なお、受付窓口の種別(持込修理/出張修理)が記載の相談窓口となります。

種別	提示・提出
持込修理	修理依頼の際に提示

●離島およびこれに準ずる遠隔地へお送りになる場合は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1) 本書の提示が無い場合。
(2) 本書に「保証期間外修理」の欄に、お客様名、販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
(3) 保証期間中に発生した故障が保証期間終了後に修理依頼された場合。
(4) 使用上の注意(取扱説明書)に貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む修理による故障。
(5) お買い上げ時、修理時などによる故障・損傷。
(6) 火災・地震・風水害・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
(7) 一般家庭用以外(業務用)に使用された場合の故障・損傷。
(8) 他の機器から受けた電磁波による不当な修理、改造による故障・損傷。
(9) 消耗・摩耗した部品の交換、交換しなかった部分の交換。
(10) 故障の状況そのほかにより、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。修理に際しては、必ず新品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が回収し、適切に処理・処分させていただきます。
(11) 無料修理(部品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用となります。
3. 故障によりお買い上げ製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
4. 記録媒体を搭載または記録する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合があります。記録内容についての保証はいたしません。
5. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

●本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号	行為を指示する記号
   	 
禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止	プラグをコンセントから抜く 指示

●本製品は、火災や感電の原因となります。必ずプラグをコンセントから抜いてください。

⚠危険 可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠警告 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
●電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
●重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
●熱器具に近づけない。加熱しない。
●電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない
感電の原因となります。
ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない
布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意 分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げの販売店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

幼児の手の届かない場所に置く
CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない
本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社にご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です
海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
アルカリ、マンガン

⚠危険 **乾電池が液漏れしたとき**
乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込み恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

BLUETOOTH®機器について

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するとき無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
●本機を分解/改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

保証書とアフターサービス

保証書
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて
調子が悪いときは
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは
アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

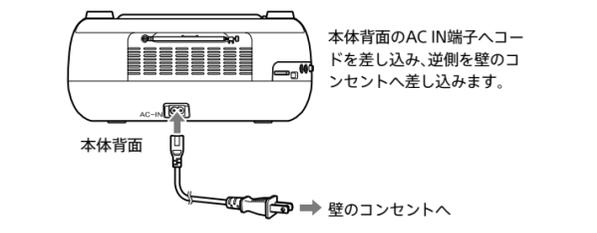
保証期間中の修理は
製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

電源を準備する

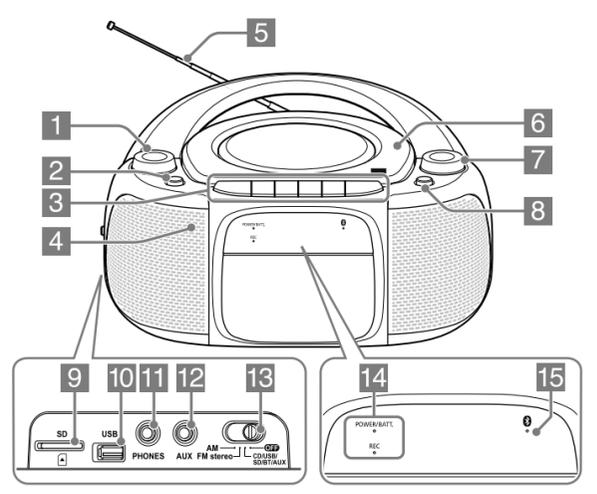
コンセントに電源コードを接続する



乾電池(別売り)を使う



各部名称



- | | | | |
|----------|------------------------|-----------|-------------------|
| 1 | 音量調節 (VOLUME)ダイヤル | 9 | SDカードスロット |
| 2 | 重低音 (BASS) ボタン | 10 | USB入力端子 |
| 3 | 操作部 | 11 | ヘッドホン (PHONES) 端子 |
| 4 | 内蔵マイク | 12 | 外部入力 (AUX) 端子 |
| 5 | FMアンテナ | 13 | 音源切替スイッチ |
| 6 | ディスプレイ | 14 | 電源ランプ/録音ランプ |
| 7 | 頭出し/選局 (MULTI JOG)ダイヤル | 15 | BLUETOOTHランプ |
| 8 | 録音/消去 (REC/DELETE) ボタン | | |

CD/USB/SDを再生する

- 音源切替スイッチを「CD/USB/SD/BT/AUX」に切り替える。



ボタンを押すたびに、再生音源が切り替わります。音源を選ぶと、読み込みが始まり、ディスプレイに曲数が表示されます。

- ▶||** (PLAY) ボタンを押す。1曲目から再生が始まります。停止するには **■** (STOP) ボタンを押します。

再生中に曲を一時停止するには

▶|| (PAUSE) ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 **▶||** (PLAY) ボタンを押します。

曲を送る/戻すには

▶▶|/|◀◀ (SKIP) ボタン、をくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。停止中に操作した場合は、**▶||** (PLAY) ボタンを押すと、選択した曲から音源を再生します。MULTI JOGダイヤルを回して、曲を選択することもできます。

リピート/ランダム再生をするには

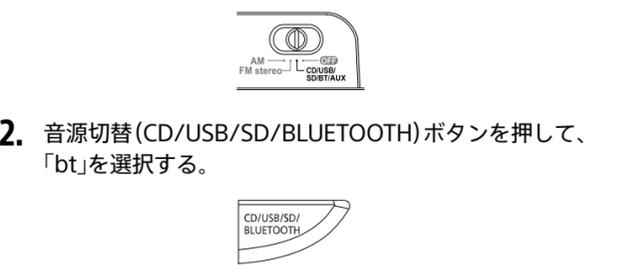
曲を再生中にPLAY MODEボタンを押します。押すたびに、1曲リピート (REP)、全曲リピート (REP ALL)、ランダム (RNDM) 再生に切り替わります。

プログラム再生をするには

PROGRAM/SETボタンを押すとプログラムモードに切り替わります。プログラム番号ごとお好みの曲を設定できます。

BLUETOOTH機器を再生する

- 音源切替スイッチを「CD/USB/SD/BT/AUX」に切り替える。



BLUETOOTHランプが青色に点滅し、本機がペアリングモードに切り替わります。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにして、本機とペアリングする。

BLUETOOTH機器の詳しい操作は、機器の取扱説明書などをご覧ください。一度ペアリングした機器は、本機がBLUETOOTHモードに入ると、自動でBLUETOOTH接続できます。

- BLUETOOTH機器を操作して、曲を再生する。本機の **▶||** (PLAY) ボタンを押しても再生できます。

BLUETOOTH接続を解除するには

■ () ボタンを長押しすると、現在の接続を切ってペアリングモードになります。

ラジオを聞く

- 音源切替スイッチを「FM Stereo」または「AM」に切り替える。



- ▶||** (AUTO SCAN) ボタンを長押しして、自動でプログラム番号を設定する。最大でFM30局、AM30局をプログラムできます。**▶▶|/|◀◀** (SEARCH) ボタンを押して、お好みの放送局を選択します。MULTI JOGダイヤルを回して、放送局を選択することもできます。

USBメモリ/SDカードに録音する

CDの音源をUSBメモリ、またはSDカードに録音します。

- CDをセットし、音源をCDに切り替える。音源の切り替えかたについて詳しくは、「CD/USB/SDを再生する」をご覧ください。
- 録音/消去 (REC/DELETE) ボタンを押す。録音モードに入ります。録音モードを終了するには、**■** (STOP) を押します。
- ▶▶|/|◀◀** ボタンを押して1曲 (ONE) または全曲 (ALL) を選択する。
- 録音/消去 (REC/DELETE) ボタンを押す。録音が始まります。録音を終了するには、**■** (STOP) を押します。

注意

- BLUETOOTH機器の曲を録音することはできません。

USBメモリとSDカード両方をセットしている場合は…

手順4の後に、**▶▶|/|◀◀** ボタンを押して、「USB」または「SD」を選択します。どちらを選択しているかは、ディスプレイ上部に表示されます。

録音した曲を削除するには

- 削除したい曲を再生する。
- 録音/消去 (REC/DELETE) ボタンを長押しする。1曲 (ONE) が表示されます。
- 録音/消去 (REC/DELETE) ボタンを長押しする。選択した曲が削除されます。

便利な機能

重低音 (BASS) 再生

重低音 (BASS) ボタンを押して、低音が効いた再生を楽しむことができます。

外部音源を聞く/録る

外部入力 (AUX) 端子に、他の音楽プレーヤーを接続することで、音声を本機のスピーカーから聞くことができます。また、USBメモリ/SDカードに録音することもできます。

電話を受ける

本機とスマートフォンをBLUETOOTH接続中にスマートフォンに着信した場合、電話を受けることができます。

- ▶||** () ボタンを1回押すと、電話を受けます。
- ▶||** () ボタンを長押しすると、着信を拒否できます。
- 通話中に **▶||** () ボタンを1回押すと、通話を終了します。
- 通話中に **▶▶|** () ボタンを長押しすると、通話機器を本機からスマートフォンに切り替えます。

使用上のご注意

録音について

- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音量について

- 音源の録音レベルの違いによりラジオ/CD再生時の音量と異なる場合があります。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

- Dual Discの再生はできません。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面 (再生面) に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

→ 電源コードがAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込まれているか、確認してください。
→ 乾電池で使うときは、電源コードをAC IN端子から抜いて使用してください。

音が出ない

→ 音源切替スイッチで正しい音源を選択しているか、確認してください。
→ ヘッドホン (PHONES) 端子にヘッドホンが差し込まれていないか、確認してください。
→ 音量調節 (VOLUME) ダイヤルが最小になっていないか、確認してください。

雑音が入る

→ 近くで携帯電話など電波を発するものを使用しないでください。

CDの再生が始まらない

→ ディスクトレイのふたが閉まっているか、確認してください。

CDを入れても「no」と表示される

→ CDの文字のある面を上にしてしているか、確認してください。
→ CDが汚れていないか確認し、汚れていたらきれいにしてください。
→ CD-R、CD-RWを再生する場合、CDがファイナライズ処理されているか確認してください。

USBメモリ/SDカードに録音ができない

→ USBメモリ/SDカードの残容量は十分にあるか、確認してください。

ペアリング(機器登録)できない

本機とBLUETOOTH機器をBLUETOOTH接続できない

→ 本機とBLUETOOTH機器の距離を1m以内に近づけてください。
→ 本機のBLUETOOTHランプが速く点滅していなかったら、音源切替スイッチを一度「OFF」にして電源を切った後に、BLUETOOTHモードに切り替えてください。

→ BLUETOOTH機器のBLUETOOTH接続機器から本機を一度削除し、もう一度ペアリングしなおしてください。

それでも解決しない時は…

→ アイワの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部	
チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1 kHz
再生可能ディスク	音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマット記録ディスク)
ラジオ部	
受信周波数	FM:76 ～ 108 MHz (0.1 MHzステップ) FMワイド対応 <p>AM:522 ～ 1629 kHz (9 kHzステップ)</p>

MP3部 (USB/SD)	
再生可能フォーマット	MP3
録音フォーマット	MP3 128 kbps
録音可能ファンクション	CD/AUX

Bluetooth部	
バージョン	Ver. 2.1
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC

共通部	
電源	家庭用電源 (AC 100 V 50/60 Hz) <p>単2形乾電池8個使用 (DC 12 V) (別売)</p> <p>(アルカリ乾電池使用時)</p> <p>CD再生時：約8時間、FM受信時：約12時間、SD再生時：約12時間、USB再生時：約12時間</p>
スピーカー	9 cm (4 Ω) × 2
実用最大出力	1.5 W+1.5 W
外部入力端子	3.5 Φステレオミニ (自動検出)
ヘッドホン出力端子	3.5 Φステレオミニ
消費電力	15 W
最大外形寸法	305 mm (幅)×135 mm (高さ)×245 mm (奥行) (突起物は含まない)

質量	約1.9 kg (乾電池含まず)
*1	JEITA規格による測定値
同梱品	
本体 (1)	
電源コード (1)	
取扱説明書/保証書 (本書)	

商標について

- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。